



豊田 隆一 Ryuichi TOYOTA

株式会社デンソー

エレフレクトリフィケーションシステムモノづくり開発部
モノづくり変革室 システム開発課 課長

▶ アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください

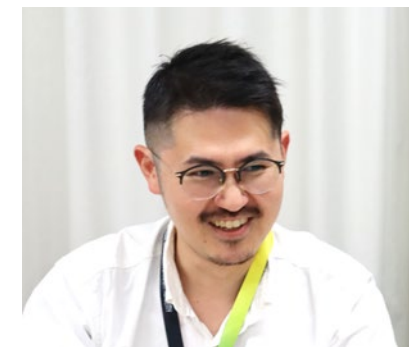
知人の紹介で「ザ・ファースト・ペンギンス」(*1)を読んで感銘を受けていた所、アカデミーがスタートする事を知りました。詳しく話を聞いてみたいと希望しフォーサイトを紹介してもらったのがきっかけです。上司と一緒に説明を聞いて「面白そうやなー」と純粋に感じました。面白い事、新しい事に会っていききたいという思いは、会社も上司も一緒だったと思います。

▶ 実際に受講してみているかがですか

新しい気付きが沢山あります。これまでがむしゃらに仕事をしてきましたが、それが芯を喰っているアイデアなのかに確信を持てていませんでした。毎回の講義で授けられる考え方や方法論を通じ仲間と議論する事で「あれはそういうことだったのか！」と腹落ちすることが多々あります。目をつぶってバッテリーボックスに立っている感覚から、武器を手に入れた感覚に変わってきました。

▶ 今後の受講生に向けてメッセージをお願いします

自分はストレングスファインダー(*2)で「学習意欲」が上位に来るくらい学ぶことが好きですが、こんな楽しい講義はこれまで受けたことがありません。一緒に学ぶメンバーの多様性も重要で、自分とは違う視点に気づきをもたらすことが多いです。まずは楽しんで、それが新しいことや社会貢献に繋がれば、この先きっと役に立つ経験になると思います。



*1 代表取締役：松波晴人 著

*2 アメリカのギャラップ社が開発した自分の才能や強みを発見するためのオンライン診断ツール



長濱 貴也 Takaya NAGAHAMA

株式会社ジェイテクト

成形プロセス研究部 要素研究室

プロジェクトマネージャー

▶ アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください

僕は入社以来、研究開発部一筋でした。新技術を学会や論文で発表するのが主なアウトプットだったのですが、そんな自分が3年前に社内にできた新規事業開発部門に技術系人材として加わったんです。そこでは常にお客様視点で話が始まり、技術を追求するだけでは足りないと痛感しました。そんなタイミングで新価値創造の手法を体系的に学べるアカデミーの紹介を受け、技術者でも顧客目線を学ぶ必要があると強く思い受講を希望したんです。

▶ 実際に受講してみていかがですか

とにかく楽しいですね。インプット型の講義だけでなく、参加型での考えるワークも数多く用意されていて、場の雰囲気がいいんです。それは初回の講義で「ボケる、ツッコまない、この部屋から持ち出さない」の基本ルールを示してもらったことが大きかったと思います。心理的安全性が確保され、自由な発言ができています。講師を含め受講生同士が対話しながら理解を深めていくという形式がすごいと思います。自分のアイデアを形にしていく毎回の課題には苦しんでいますが（笑）。

▶ 今後の受講生に向けてメッセージをお願いします

この場では素直に自分をさらけ出すことをおすすめしたい。鎧をまとってはいもったいないです。講師や受講生の方々は真摯に話を聞いてくれて、愛のある率直なフィードバックをくれます。だからこそ正直に思ったことを言うことが自分の成長に繋がると思います。僕自身はアカデミーを受講して価値について深く考えるようになりました。普段の仕事ではできない新しい経験がたくさん得られると思います。





佐藤 直史 Tadashi SATOU

株式会社オカムラ

フューチャービジネス推進事業部
事業部長

▶ アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください

社内メンバーの依頼で急遽アカデミーを受講することになりました。なので開校式の段階でも具体的に何をやるのか分かっていない状態だったんです（笑）。永らく営業部門に在籍していましたが、新しい取り組みに興味があり、営業なのに新商品の開発を手掛けてたりもしました。今では多くの駅にある個室型テレワークブース「TELECUBE（テレキューブ）」（*）も当時の製品です。そのような経緯もあり2年前に現在の新規事業部門を任されました。新規事業は簡単じゃなく10個やっても1個上手くいくかどうか。そもそも社会人は失敗する訓練をしてきていないからモチベーションを保つのも難しい。そんなマインドも含めて新価値を創るプロセスを学べそうだと思い参加しました。

▶ 実際に受講してみているかがですか

講義は楽しく、すごく実践的だと感じます。理論を基本として知っておくことは大事ですが、それをどんな状況でどう使えるかの方が大事。その点でアイデア創出とその実装という両面があることが他とは異なる価値だと思います。私はアカデミーに参加するようになって周りを注意深く見るようになりました。これまで気にしていなかったことが気になるようになった。それが一番の収穫かな。そうでなければ私は気づきをスルーしていた訳ですから。

▶ 今後の受講生に向けてメッセージをお願いします

何かを生み出すというルートの中で色んな人と出会え、新しい気づきがきくとあると思います。多くの会社の新規事業部門は少人数でやっているケースが多いし、同じような悩みを持った人達と対話できる機会はとても貴重ですから。このアカデミーで出会った人達と将来繋がっていけるんじゃないかなと思うととても楽しみです。そういう始まりになる場所だと思います。

* TELECUBEは株式会社ブイキューブと株式会社オカムラの共同開発商品



細田 昌宏 Masahiro HOSODA

株式会社ネクスティ エレクトロニクス

課長職

新事業推進部 FA技術企画グループ

▶ アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください

僕は日頃から直感を大事にするタイプですが、中でもアカデミーとの出会いに至る出来事は驚くようなご縁の連続でした。かねてより親交のあった竹林さん(プロデューサー専攻 講師)のセミナーにゲスト登壇された松波さんの話を聞き、これは新価値創造の羅針盤になると強く感じていた頃、参加したネットワーキング(異業種交流会)で最初に名刺交換したのがアカデミー・ディレクターの長峯さんだったんです。「もしかしてペンギンの？」から話が始まり、松波さんと直接話ができる機会を得てここに繋がりました。すべては出会いと縁とタイミングです。

▶ 実際に受講してみているかがですか

受講して思うのは、手法を教わる場ではなく実践するアカデミーなんだなということ。理論と実践が繋がっていき、今まで感覚的にやっていたことを言語化して理解していける。解像度が上がり自信が深まっていく感触を得ています。これまで成功事例から学べと言われてもピンときませんでした。成功事例のInsight(*)を想像してみろと言われてればイメージが沸きます。仲間との対話はもちろん、講師陣の一言一言が発見の連続です。

▶ 今後の受講生に向けてメッセージをお願いします

新しいことに挑戦する人は、皆それぞれにこれで良いのだろうかという悩みを持っていると思います。だからこそ成長と解決のヒントが得られる場が必要なんです。良い先輩や仲間と出会い、共通言語で語れ、率直にフィードバックし合えるアカデミーは、必ずや社会を変革する力になると信じています。ぜひ参加して、自分をリフレッシュする体験をして欲しいですね。



* 事実や知見から洞察した新たな仮説



八川 剛志 Takeshi HACHIKAWA

住友電気工業株式会社

情報ネットワーク研究開発センター
モビリティシステム研究部 部長

▶ アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください

これまで社内の大小様々なプロジェクトを担当してきました。出向や海外メンバーとの仕事など自身の幅が広がる貴重な経験もしてきましたが、今後、本格的なマネジメントをしていくにあたり部門の方針をしっかりと打ち出す必要性を感じていました。「事業の裏付けを考える」ことをしたいと思い、アカデミーに参加することを決めました。

▶ 実際に受講してみているいかがですか

アイデアを自分の頭の中で膨らませられるようになったのはアカデミーのおかげだと思います。ある時、講義の中で「2つの異質なものをくっつける」(=統合)ワークがあったのですが、無意識に行ってきた考え方を客観的に捉えることが出来ました。他者の視点と自分の世界を結びつける方法を知ること、自分に確信が持てるようになりました。アカデミーでは単なる一般論ではなくカスタマイズする基本を学べていて、自分にとってものすごく大きな価値になっています。

▶ 今後の受講生に向けてメッセージをお願いします

私は困りごとがきっかけで参加しましたが、困りごとがなくても Foresight Creation (*1) を頭の片隅に置いておくことで、ものの見方が変わるのでお勧めです。後輩にも受講するように伝えようと思っています。また、この期間で遊びの捉え方も変わりました。これまでは週末テニスばかりだったのですが、普段から違和感のある Fact (*2) を探すようになりました。行動そのものが変わる感覚も楽しんで欲しいと思います。



* 1 大阪大学フォーサイト(株)オリジナルの新価値創造方法論

* 2 行動観察で得られる場の情報



プロデューサー専攻

平沢 洸 Hikari HIRASAWA

九州大学大学院

芸術工学府 デザインストラテジー専攻

プロデューサー専攻

渡部 泰生 Taiki WATANABE

大阪大学

工学部 電子情報工学科 電子工学コース

▶ アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください

渡部 2年前に大学に編入する動機となった研究室が消失して迷っていた時、授業のゲストとして来られた松波先生の講義を聞き興味を持ったのが始まりです。Foresight Creation (*) の考えをもっと知りたいと先生を訪ね、学外の勉強会やインターンシップの機会をもらいました。そのご縁で今年の4月から大阪大学フォーサイト(株)への入社が決まり、内定者研修という形で受講をしています。

平沢 私も5年前、大学2年生の時に九州大学で松波先生の講義を初めて受講しました。その講義がきっかけで大阪大学で新価値創造のプログラムがあることを知り参加しました。当初は博士進学予定でしたが、実学世界への興味が強くなり進路を切り替え、4月から社会人になります。今回のアカデミーの内容は当時よりさらに広く深くなっており、社会で必ず役立つと思い、将来の夢の実現のため受講しています。

* 大阪大学フォーサイト(株)オリジナルの新価値創造方法論

▶ 実際に受講してみているかがですか

渡部 以前受けた松波先生の勉強会では受講生が全員大学生だったので、抽象的な理論を実装するイメージが湧いていませんでした。今回は社会人の方たちの実務視点での考えが聞ける点が全く違います。ビジネス経験のある人達が、どのようにアイデアを活かそうとしているのか知ることができて、とても良かったと思います。

平沢 講義のクオリティは絶対高いと思っていましたが、当初想像していたイメージの10倍以上です。九州から参加しているので遠征も多いのですが、帰る時に講義前よりも元気になっているのをいつも感じます。刺激をもらい、自分の中にエネルギーが蓄えられていく実感が常にあります。

渡部 講義の中では様々なワークや発表の機会がありますが、社会人にはできない豊かな発想だと他の受講生に言われることがあります。社会人と学生が混じって議論することの面白さも感じますね。

平沢 私は自分が変わっていく感覚が大きいです。間接的ですが、受講生の皆さんが「こうでなきゃ」の枠が外れたり変形したりして行くのを見て、自分もそうなんだと感じるんです。



▶ 今後の受講生に向けてメッセージをお願いします

平沢 大学生という立場でアカデミーで学ぶのが良いと思う点は、社会人として経験豊富な人達の視点に触れられることです。会社の中でのリアルな経験や悩みなどを聞けるのも、とても貴重な体験になっています。構えずスポンジのように吸収する気持ちで参加すれば、他にはない大きな学びを得られると思います。



渡部 僕と同じように大学生の立場で参加する方には、思っているよりもっと自由に考えていいよと言いたいです。自分自身にブレーキをかけることなく、どんどん弾けるといい。このアカデミーはそれが受け入れられる場所だと思います。僕もまだまだ弾けたいと思っています（笑）





クリエイター専攻

松浪 潤 Jun MATSUNAMI

株式会社ジェイテクト

BRマーケティング室 グループ長

プロデューサー専攻

川鍋明久 Akihisa KAWANABE

株式会社ジェイテクト

コーポレート戦略室 エグゼクティブプロフェッショナル
BRマーケティング室 室長**▶ アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください**

川鍋 当社は自動車市場を事業基盤に安定的な売り上げを確保してきましたが、今日の変化に対応するためには新しいアプローチが必要だと感じていました。マーケ部門やコーポレート戦略室の設立など組織の変化点は出てきましたが、上手く結果に繋がらないジレンマがあったんです。そんな時に大阪大学フォーサイト・アカデミーの存在を知り、新価値創造のプロセスと学術的な人間論の両輪を学ぶことで、マネージャーとして人材・組織を強化し成果を上げられると感じ受講を決めました。

松浪 僕は入社以来、「軸受」の設計開発担当として、顧客の要望に応じた製品開発をしてきました。受動的な開発を続けていて良いのかという漠然とした課題意識を感じていた頃、新規事業や新製品の提案を担当する部門に異動しました。そこで川鍋が熱く語るビジョンに共感し、自社が解決すべき課題を見つけ出したいと模索し始めました。理論と実践が学べるアカデミーの存在を聞き、手を挙げて参加を希望したんです。

▶ 実際に受講してみているかがですか

川鍋 書籍だけでは得られない実践的な事例説明や対話を通じて、理解が深まっていると実感します。特にプロデューサー専攻にあるアダム・スミスの人間理解は他にない学びだと思います。他の受講生との対話にも刺激を受けることばかりです。

松浪 クリエイター専攻でもForesight Creation(*)のワークや課題を通じて理論と実践を繰り返しています。プログラムの折り返しに入り、これからはよいよ新価値を創造していくフェーズです。僕が今まで時間をかけて取り組んできたことを検証したい。ここからが正念場と感じワクワクしています。

川鍋 実は当社からは複数人のメンバーが両専攻を受講しています。研究・開発・営業と様々な部門のキーマンと、本アカデミーで学んだ共通言語で話が出来つつある。私が思い描く未来図は皆で価値を生み出すことなんです。

松浪 そうですね。アカデミーでの学びをもっと社内浸透させたいです。自分のものにできるよう頑張ります。



* 大阪大学フォーサイト(株)オリジナルの新価値創造方法論

▶ 今後の受講生に向けてメッセージをお願いします

川鍋 このアカデミーが他と違うのは、方程式のように何かを教えたり型にはめたりするような講義ではないところです。課題やワークを通じて仲間と議論を深め、具体的なイメージを掴んでいけます。大阪大学ならではの知見を加えて学べるところも面白い。講師の方々との意見のキャッチボールはとても贅沢な体験になると思います。

松浪 僕は社外の人たちとの議論が刺激になっています。同じものを見ても異なる意見が出てくるのを目の当たりにして、視野が広がっていくのを実感できるはずです。共に学ぶことで仲間作りができるのも、大阪大学フォーサイト・アカデミーの大きな魅力ですね。





クリエイター専攻

秋山敏宏 Toshihiro AKIYAMA

株式会社島津製作所

基盤技術研究所

新事業開発室 新事業開発グループ

プロデューサー専攻

広瀬竜太 Ryuta HIROSE

株式会社島津製作所

基盤技術研究所

新事業開発室 新事業開発グループ グループ長

▶ アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください

広瀬 私自身は自分が新価値を生み出すというよりは、社内でイノベーションを生み出す人材が活躍できる仕組みづくりをしたかったんです。そのためにも、まずは自分でそのプロセスを実践してみようと思い参加しました。以前より松波さんの話も聞いていましたし、信頼のおけるものだと知っていました。

秋山 私は開発部門から新規事業部門への異動がきっかけです。以前は上から降りてくるテーマを実現するために工夫をすることが良い仕事でしたが、新しい部署では全く違う。ノウハウもないし、何から始めればいいのか分からずで……。どうすればいいんだ？と思っていたところに上司からアカデミーの案内をもらい参加を決めました。

広瀬 巻き込んだのは私です(笑)。デザイン思考やフレームワークなど世の中には数多あれど、実際やるとなるとみんな困っていて。だからこそ、自部門のメンバーに体験して欲しかったんです。

▶ 実際に受講してみているかがですか

広瀬 プロデューサー専攻では、最初にみんなで決めた「共創～隠さず自分に正直に」という約束が本気と楽しさを生み出したと思います。率直なフィードバックはアイデアを育てると実感しています。優れた講師陣の存在も素晴らしいです。何度かある発表では、講師それぞれの異なる視点からフィードバックが得られて、そのコメントを聞くだけでも価値があり、毎回ワクワクします。

秋山 クリエイター専攻ではワークショップやフィールドワーク (*1)が多かったのですが、それらを通じて日常の気づきを大事にすればいいんだと分かったことは大きかったです。これまでは自社の強みありきで、課題に対してどうアプローチできるかと考えがちだったんですが、まず社会として何が課題なのかをフラットな目線で捉えることからスタートすればいいんだと。そんな考え方はこれまでの自分にはなかったもので、本当にためになったと感じています。

広瀬 同じ部門の上司部下で参加したことも良かったです。前提条件が同じになっているので話しやすいし、共通言語が出来ることで伝わりやすくなる。孤軍奮闘ではなく、組織での新価値創造につながると感じています。



秋山 確かにInsight (*2) は何か?といった会話になったりしますよね。

▶ 今後の受講生に向けてメッセージをお願いします

秋山 出会いが一番のおすすめです。日常業務から離れ、他の人達の考えを知る良い機会になりました。自由に意見交換でき、多様な視点のフィードバックから視野が広がります。みんな何かを作り出したいという共通テーマを持っているからこそ、良い場になっていくんだと思います。

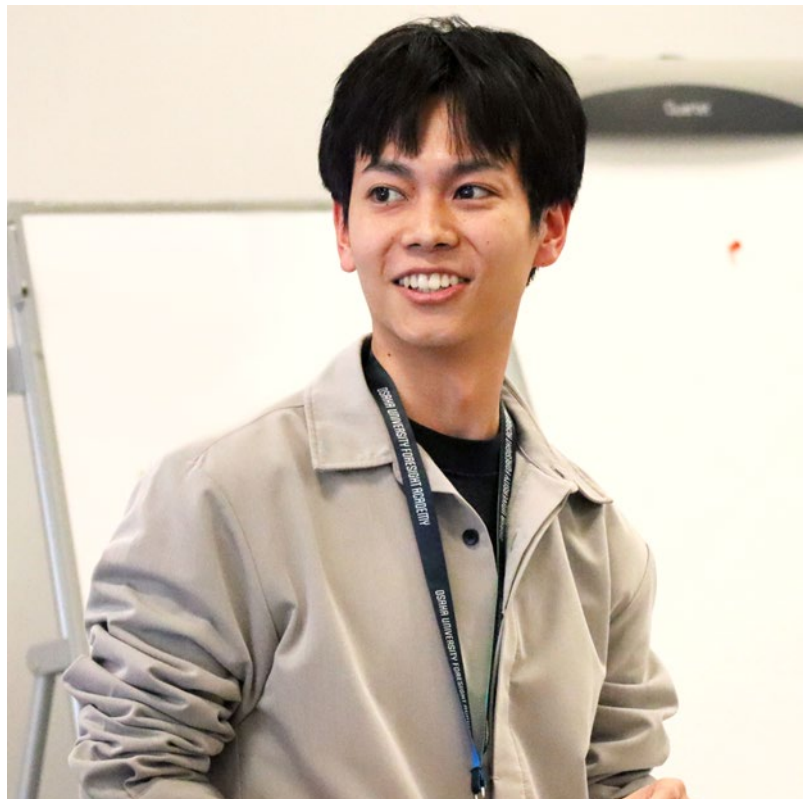


広瀬 まずは飛び込んできてみてほしいです。そうすれば必ず何が得られると思います。この場にいるだけで本気で何かに向き合えるし、つながっているだけで成長できる貴重な場になるはずです。



* 1 文化人類学の知見を使った講義と実践プログラム

* 2 事実や知見から洞察した新たな仮説



須佐見 幸生 Koki SUSAMI

株式会社サクラレパス

中央研究所 研究チーム

▶ アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください

僕は直属の上司からの紹介で受講しました。アカデミーのパンフレットに「具体的に新しい価値を創造する」と書かれていて、「入社したからには新しいものを作りたい」という自身の目標と合っていると感じたことを覚えています。僕のメイン業務はボールペンのインク的设计なのですが、インクの色へのこだわりをもっと突き詰めてみたい。会社では「ボールペンおたく」と言われているようです (笑)

▶ 実際に受講してみていかがですか

大学時代も今の担当業務も理系の分野のため、文化人類学の人文系の講義はとても新鮮です。自分が頭の中でぼんやり考えていたことは、こんなプロセスで考えていたんだと分かりました。今まで気づかなかった新しい見方が、脳の使える領域を増やしていったみたいな感触でしょうか。これまで外部セミナーを受けたことがなかったため社外の人と議論するのも初めてで、異なる業種の人たちの話を聞けるのもとても面白く刺激的です。

▶ 今後の受講生に向けてメッセージをお願いします

アカデミーには新しいものを作りたいという熱い想いを持っている人が集まっているので、その気持ちやエネルギーをもらえる場になっています。会社では通常業務に追われてしまいがちですが、アカデミーでの学びの時間が自分の力の源になり、日々の仕事にも影響しています。多くの人たちとネットワークができることで、視野が広がっていくのを実感できる機会になると思います。





高井 保奈美 Honami TAKAI

プライムプラネット

エナジー&ソリューションズ株式会社

G X 本部 グリーン戦略部 Smile Eco Project

▶ アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください

以前、社内で大阪大学フォーサイトのプログラムを受ける機会があり、Foresight Creation (*1) の概要を学びました。会社が持っている課題に対して新しい価値提案をするというところまで体験したのですが、その先がどうなっていくのか気になるなと思っていた時に、上司を通じてアカデミーのことを知ったんです。

▶ 実際に受講してみているいかがですか

普段使わない脳を使っているという感じがします。普段の業務ではロジカルに考えることを要求されるけれど、フィールドワーク (*2) やプロトタイピング (*3) では目の前にあることを先入観なしにまずは受け取って体で感じて、後から考えることをやるんです。簡単なようで本当に難しい。グループワークでは、同じものを見ても人によって違うことが分かり、固定されていた視野が広がるのを実感しています。

▶ 今後の受講生に向けてメッセージをお願いします

私にとってアカデミーは、元気をもらえて明日からまた頑張ろうと思える場所です。一番印象に残っているのは文化人類学/フィールドワークの講義ですが、受講以来、手書きでメモを取るようになりました。手を動かすことで自分が何に注目しているかが分かります。「事実をしっかりと見ること」と「動いて考えること」の相互作用は現場の仕事にも生かせることが多いと思います。



* 1 大阪大学フォーサイト(株)オリジナルの新価値創造方法論

* 2 文化人類学の知見を使った講義と実践プログラム

* 3 新価値を具現化するための実践プログラム



前田 圭介 Keisuke MAEDA

株式会社オートネットワーク技術研究所

▶ アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください

もともと自動車が好きでエンジニアとして働く中、モノづくりの楽しさに触れました。人の暮らしの中で役立つ製品を作りたいとの思いから、車に限らず新しいものを生み出す企業に転職し、現在は車載製品の開発と同時に新規事業の創出に取り組んでいます。入社半年の報告会で上司からアカデミーを紹介され、新しい価値創造のプロセスを学ぶのにまたとないチャンスだと思い参加を決めました。

▶ 実際に受講してみているいかがですか

めちゃくちゃ楽しいです。これまで思っただけで自己流でやっていたプロトタイピング(*)を体系づけて学んでいます。受講生と一緒に0からスタートできるところもいい。ワークや課題に取り組む中で、同じようなところで困っていることも分かり、フィードバックを得ながら皆で成長できる環境が魅力的です。講師の経歴が自分の目指す姿に近く、理解しやすい話のため最高の機会と感じています。学べるものは全部学びたいと取り組んでいます。

▶ 今後の受講生に向けてメッセージをお願いします

もし受講を迷っている人がいるなら絶対に来たほうがいいと思います。そして上司の方にはその機会を作ってあげてほしい。特に新事業の部門にいる人達は、どうしていいのかわからないことも多いんじゃないかな。やろうとしているけれど実際に行動に繋がらない場合も多いだろうから、その方法論を学ぶためにこのアカデミーのプログラムはとても意味があると思います。



* 新価値を具現化するための実践プログラム



八木 一平 Ippei YAGI

朝日放送テレビ株式会社

技術局

放送技術センター 放送情報グループ

▶ アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください

人事部からの紹介で受講することになりました。元々技術出身ですが、3年程前に社内システムの運用管理部門へ異動になったんです。社内外の色々な人と接する中で、自分自身が視野を広げて新しい知見を取り入れたいと強く思い、折に触れて社外研修の希望を出していたのでチャンスをもたらえて嬉しかったです。プライベートでは結婚して子供が出来たことも仕事への向き合い方を考えるきっかけになりました。

▶ 実際に受講してみていかがですか

最初は何も分からなかったのですが、新しいことを考えるのはこんなにも楽しいんだと感じています。僕の仕事は安心安全の維持が中心で、新規事業部門とは異なりますが、様々な背景を持つ仲間達と一緒に考え対話をするこの場はとても刺激的です。自分自身がアカデミーを受講して変わったと思うのは、以前より観察するようになったこと。この気づきを活かして、業務の改善や他部門との連動までを形にしたいと思っています。僕自身の仕事と生活の効率化にも繋がりたいですね。

▶ 今後の受講生に向けてメッセージをお願いします

世の中には色々な研修が増えているし、どれを選んでいいのか分からないと感じる人も多いと思います。このアカデミーは方法論やHOW TOだけでなく、大阪大学の知見を生かしたアカデミックの本質を学ぶことが大きな違いだと思います。文化人類学の先生からフィールドワーク(*)の方法を学んだ講義はとても印象に残っています。参加することで新たな世界が広がることを実感できるはずですよ。僕がまさにそうですから。

*文化人類学の知見を使った講義と実践プログラム





清水 悟司 Satoshi SHIMIZU

株式会社島津製作所

基盤技術研究所 AIソリューションユニット 解析グループ
博士 (工学)

▶ アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください

30代になり仕事も生活も充実してきましたが、自分に少し負荷をかけたいという気持ちが生まれていました。慣れた環境は安定していますが成長率が鈍くなります。新しい刺激がある違う環境に身を置きたいと思ったのです。受講の決め手はプログラムの期間が長かったから。短期の研修では学びが定着しないと常々感じていたので、ある程度の時間をかけるアカデミーに魅力を感じました。

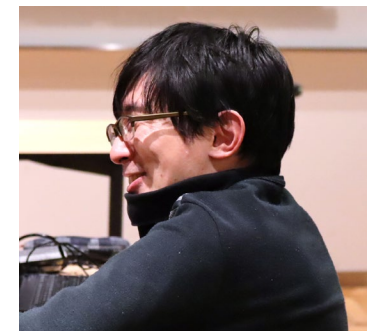
▶ 実際に受講してみているいかがですか

自分のマインド・心持ちに良い影響が出ていると思います。受講生それぞれが同じものを見て違う発想をするのを目の当たりにし、自分の考え方の癖に気づくこともありました。プロトタイピング(*)の講義で「常識を破るための舞台装置」という言葉を聞き、アカデミー自体が舞台装置的な役割を果たしているように感じたんです。ここにいると普段は言わないことや考えないことに辿りつく。自分はこんな感じ方ができるんだと発見があります。新価値創造は未知の世界だと思っていましたが、研究と同じ本質を持っていると思うようになりました。自分が培ってきた軸を活かして色んなことができそうだと感じ始めています。

* 新価値を具現化するための実践プログラム

▶ 今後の受講生に向けてメッセージをお願いします

「新価値創造」という共通の課題に対して同じスタートラインからやるという経験は社会人になると少なくなるので、貴重な機会だと思います。僕は大学から大学院に上がる時に担当教授から「集団で勉強する人のほうが合格率が高い」と言われたことを鮮明に覚えています。アカデミーの場にもそういう効果があると思うので、対話の時間を沢山持つことをお勧めします。





山本 貴史 Takashi YAMAMOTO

株式会社ジェイテクト

営業企画部 企画室 市場調査グループ

主任

▶ アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください

最初は平日開催で期間が長く、仕事の調整は難しいと思い受講を見送ったんです。でも将来を考えた時、新しい価値を生み出すための学びを逃す訳にはいかないと考え直し参加を決意しました。これまで仕事を通じて得てきた様々な身体知に理論を合わせて言語化したい、ならば時間を無理やり作って負荷を与えながらやったほうが自分の身につくと思ったんです。

▶ 実際に受講してみているいかがですか

毎回新たな気づきや発見があり、ノートを見返すと内容がどんどん濃くなっているんですね。個々の持つアイデアを具現化するための本気のディスカッションやプロトタイピング(*)などは、僕がこれまでやってきた課題解決やバックキャストからの検討とは全く異なる発想です。アイデアが徐々に精緻なものになっていくプロセスを実感しています。毎回カルチャーショックを受けている感覚があり、この色んな見方が血肉になると確信しています。

▶ 今後の受講生に向けてメッセージをお願いします

講義ももちろんですが、その後の懇親会も自主的に継続して欲しいです。講師も交えて活発なディスカッションが生まれる場で、アカデミーの内容の理解がさらに深まっていると感じました。同じ志を持つ社外の仲間達と回を重ねる毎にコミュニティも育っていく、これもアカデミーの魅力ですね。これから参加する人達には、その点も含めて徹底的に学びを楽しんで欲しいと思います。

* 新価値を具現化するための実践プログラム





鈴木 勇一 Yuichi SUZUKI

武陽ガス株式会社

地域新価値創造プロジェクトチーム

リーダー

▶ アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください

2年程前から会社のプロジェクトとしてForesight Creation (*1)に取り組んできました。事実を集めてInsight (*2)を出す所までは進むのですが、アイデアからビジネスモデルを作り収益化する所で難しさを感じ進めずにいたんです。そんな時アカデミーがスタートすることを知り参加を希望しました。改めて学び直すことで壁を乗り越えたいと思ったのです。

▶ 実際に受講してみているいかがですか

アカデミーのメンバーからは、自分では思いつかない夢のような技術や価値が出てくるのが楽しいです。私はどうしても現実的に小さく考えがちだったのですが、講師の方々や異業種のメンバーと意見交換をすることで、これまでぶつかっていた課題にも新たな視点を得られ、自分の強みを知ることもできました。今回の学びを通じて、会社に貢献できる新しい価値を生み出したいという気持ちに熱が加わったと思います。

▶ 今後の受講生に向けてメッセージをお願いします

通常の仕事では得られない知識や情報の調べ方はもちろん、困難を突破する力を知ることができます。毎回のアカデミーの場は、安心してチャレンジができ失敗もできる場所になっているんです。実際の現場ではそんな機会がないので貴重な体験だと思います。やって碎けてもダメージがない(笑)。僕自身はそれが自分の自信に繋がっていくと感じています。



* 1 大阪大学フォーサイト(株)オリジナルの新価値創造方法論

* 2 事実や知見から洞察した新たな仮説



光司 圭佑 Keisuke Koji

西部ガスホールディングス株式会社

事業開発部 推進グループ

係長

▶ アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください

ここ数年は新規事業部署で複数のプロジェクトの立ち上げを経験してきました。当初2名で始めた部署も、最近は20代の若手も増えてきて、どうやって考えたらいいいのか、切り口はどうか、などアイデアやアプローチの不透明さが課題になってきていたのです。僕自身のメイン業務は新規事業創出を離れていたのですが、これまでの経験やプロセスをメンバーに言語化して伝える役割を担うことが会社の未来に繋がると思いアカデミーを受講を決めました。

▶ 実際に受講してみているかがですか

当初の想像以上に受講して良かったと感じています。これまで感覚で新規事業を進め、自己流で試行錯誤してきました。しかしアカデミーの課題に取り組む中で、まずはFact (*1)を集めてからゴールに繋げるという手法や考え方、その面白さを学びました。頭を殴られたように衝撃的な体験だったのは、プロトタイピング (*2) の講義です。全く手を動かすことができず、大いに自分を振り返る時間になりました。苦手を克服する方法や、自身のアイデアで困難を乗り越える必要性を体験し、新しい視点に気づけたのは大きな収穫でしたね。

▶ 今後の受講生に向けてメッセージをお願いします

新規事業担当かどうかに関わらず、社会人経験をしてきた人にとっては自分の凝り固まった考え方に気づき、視野が広がる体験になると思います。僕は九州から参加していますが、新幹線の中で上手く気持ちを切り替えることがルーティンになって、アウトプットにも繋がっていくように思います。多様なエリア、多様な業種、多様な部門の人と対話してアイデアを具現化していける手ごたえを感じています。



* 1 行動観察で得られる場の情報

* 2 新価値を具現化するための実践プログラム



クリエイター専攻

奥野 高彬 Takaaki OKUNO**(株) オートネットワーク技術研究所**開発企画部 事業企画グループ
主査

クリエイター専攻

佐分利 誠 Makoto SABURI**(株) オートネットワーク技術研究所**次世代アーキテクチャ研究部
ワイヤリングシステム&コンポーネント 主幹**▶ アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください**

奥野 以前は経理系部門に所属し、製品の採算管理に携わっていました。昨年からは現部門に異動し新製品・新事業の企画を行っています。既にある価値を伸ばす仕事から新たな価値を創る仕事が変わったため、その方法論を自分なりに模索していたのですが、上司からこのアカデミーの紹介があり、体系的に学べるのではないかと思います。

佐分利 私も昨年からは新しいビジネス創出に取り組んでおり、ネットや書籍の情報を頼りに手探り進めていました。ただ自分のやり方に不安があったため、会社からの案内メールをもらってすぐに参加を決めました。以前、松波さんの講義動画を見て感銘を受け、書籍「ザ・ファースト・ペンギンス」をすぐに読んだ記憶があったんです。このアカデミーで新たなアイデアに触れたいと思いました。

奥野 実は僕らは同じ会社ですが、ここで会うまではお互いを知らなかったんです(笑)。話してみると課題感も似ていて心強かったですね。

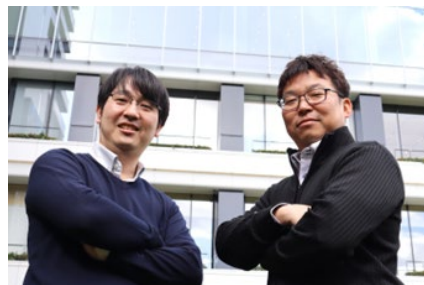
▶ 実際に受講してみているかがですか

佐分利 実践に重きを置くアカデミーでは、とても雰囲気良く堅苦しくない中で学べました。毎回積極的に参加できました。一般的な講義やセミナーではない、講師や受講生の間での双方向の対話や交流が、主体的に考える環境を作ってくれていたと思いますね。5カ月という期間で個々のアイデアを新しいビジネス創出にまで繋ぐ手法を学べたことは大きかったです。

奥野 僕も期待していた以上の成長を実感しています。アカデミックなフィールドワーク (*1) から事業の具現化まで、充実したプログラムでForesight Creation (*2) を学ぶことができました。何度も繰り返し考えて、最後にはアイデアをスケールアップさせることができたと思います。

佐分利 アカデミーでは毎回いろんな場所で講義があったのですが、考えを深めていくための環境は大事だと実感しました。社内でもそういった考える場や応援される場を作っていきたいと思いましたね。

奥野 そうですね。実は以前から持っていたアイデアが漠然としていて社内提案に至っていませんでした。このアイデアをアカデミーの中でのテーマとしたことで、一気に解像度が上げることができたので実行に移そうとしています。



▶ 今後の受講生に向けてメッセージをお願いします

奥野 自分では様々な自己研鑽をしてきたつもりでしたが、最新のオープンイノベーション施設などの会場で普段接点のない業界の方と意見を交わせるアカデミーは、「百聞は一見にしかず」でした。プログラムだけでなく環境面もイチオシです。

佐分利 とにかくその場を感じてほしいですね。普段見ないものを見る、聞く、対話するなどの場の空気はとても大きいと思います。受講生は職種は違えど、みんな何かを生み出すにはどうしたらいいかという問いを持っています。だから対話も深まるし、モチベーションが上がるんですよね。アカデミーに参加すると元気になって帰ってくると思います。



* 1 文化人類学の知見を使った講義と実践プログラム

* 2 大阪大学フォーサイト(株)オリジナルの新価値創造方法論